

会計名			子ども会助成事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	中央児童館		
款	項	目					課等長名	近藤 博志		
3	2	2					作成者	田村 研一		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	刈谷市子ども会育成連絡協議会に所属する地域の子ども会を補助することで、より活発な活動を促進するとともに、児童の健全育成を図る。			主たる内容	市内の単位子ども会(50人まで)ごとに子ども会活動費13,000円を補助する。また、会員数が50人を超えた単位子ども会には、13,000円を超えた人数×120円を加算する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画							
			根拠法令	児童福祉法						
		対象者	子ども会		事業期間	昭和36年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		子ども会活動費を補助することにより、子どもたちの健全な育成の機会として多くの子ども会行事の開催を支援した。		子ども会活動費を補助することにより、子どもたちの健全な育成の機会として多くの子ども会行事の開催を支援した。		子ども会活動費を補助することにより、子どもたちの健全な育成の機会として多くの子ども会行事の開催を支援した。		子ども会活動費を補助することにより、子どもたちの健全な育成の機会として多くの子ども会行事の開催を支援する。		
成果 (できたこと)		市内の単位子ども会に活動費補助金を交付し、地域の子どもの健全育成を支援することができた。								
課題 (できなかったこと)		子ども会会員数の減少及び単位子ども会の解散がみられるため、会員数の維持、増加を図る必要がある。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		子ども会会員数(人)			6,387	6,250	5,925	6,000	6,100	
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		1,643	1,622	1,584	1,740	合計 1,583,800 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 1,583,800 円			
		一般財源	1,643	1,622	1,584	1,740				
	職員人件費 ②		0	3,624	3,589	3,746				
	総事業費(①+②)		1,643	5,246	5,173	5,486				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			中央児童館管理事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					課等長名	近藤 博志	
3	2	4					作成者	江坂 隆	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	中央児童館の適切かつ効率的な運営を図るため、施設の維持管理を行う。			主たる内容	中央児童館の施設機能を維持していくために各種点検や清掃、保守管理、警備委託等を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
			根拠法令	児童福祉法					
		対象者	児童・保護者			事業期間	昭和56年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行った。		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行った。		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行った。		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行う。	
成果 (できたこと)		中央児童館の施設を維持管理することにより、利用者に児童厚生施設として適切なサービスを提供することができた。							
課題 (できなかったこと)		電力需給の逼迫に伴い、施設の節電対策を昨年以上に進める必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		中央児童館利用者数(人)			90,637	85,992	87,925	88,000	90,000
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費①		11,504	11,575	12,251	12,991	合計	12,251,140 円	
	財源	特定財源	281	264	255	214	需用費	4,912,924 円	
		一般財源	11,223	11,311	11,996	12,777	役務費	294,973 円	
	職員人件費②		0	0	7,178	4,870	委託料	5,540,732 円	
	総事業費(①+②)		11,504	11,575	19,429	17,861	使用料及び賃借料	1,502,511 円	
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		行政財産目的外使用料 電話料実費徴収金					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			一般会計 一ツ木児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					課等長名	近藤 博志	
3	2	4					作成者	江坂 隆	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	一ツ木児童館を適切に管理・運営をすることにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。	主たる内容	一ツ木児童館の指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、適切な管理・運営の実施する。 開設場所 一ツ木福祉センター内					
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン						
	対象者	児童・保護者		事業期間	平成10年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
成果 (できたこと)		指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、一ツ木児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにした。							
課題 (できなかったこと)		一ツ木児童クラブ移転後のスペースを本来の児童館として有効に活用していく体制をつくる必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		一ツ木児童館利用者数(児童クラブを除く)(人)			15,306	11,228	11,022	11,500	12,000
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		3,934	3,900	4,309	8,036	合計	4,309,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,309,000円	
		一般財源	3,934	3,900	4,309	8,036			
	職員人件費②		0	2,175	2,512	1,873			
	総事業費(①+②)		3,934	6,075	6,821	9,909			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			なののはな児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	中央児童館	
3	2	4					課等長名	近藤 博志	
							作成者	江坂 隆	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	地域の児童館として、なののはな児童館を適切に管理・運営することにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	なののはな児童館の指定管理管理者として市川商事株式会社を指定し、地域児童館の適切な管理・運営の実施する。 開設場所 老人デイサービスセンターなののはな2階			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
			根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン					
		対象者	児童・保護者	事業期間	平成23年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
						子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
成果 (できたこと)		指定管理者として市川商事㈱を指定し、なののはな児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにした。							
課題 (できなかったこと)		新しい児童館であるので、平成23年度に引き続き新しい行事を展開していくこと。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		なののはな児童館利用者数(人)			—	—	7,154	7,500	8,000
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費①		0	0	5,147	4,043	合計	5,146,807円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	298,082円	
		一般財源	0	0	5,147	4,043	委託料	4,075,000円	
	職員人件費②		0	0	2,512	1,873	工事請負費	60,000円	
	総事業費(①+②)		0	0	7,659	5,916	備品購入費	713,725円	
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			プラネタリウム管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					課等長名	近藤 博志	
3	2	4					作成者	江坂 隆	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	プラネタリウムの保守管理業務及び番組制作を行い、一般投映・学習投映を実施することにより星や宇宙への関心を高める。	主たる内容	○プラネタリウムの性能を維持するため定期的な保守管理を実施する。 ○番組の制作を、刈谷市教育研究会のプラネタリウム教材開発委員会に委託し、一般投映番組と学習投映番組を制作する。 ○子どもたちや一般向け番組と、幼稚園児・保育園児・小学生・中学生を対象とした学習番組を投映する。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市次世代育成支援行動計画					
	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和56年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の一部改訂		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の更新		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の一部改訂		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の一部改訂	
成果 (できたこと)		一般投映を通して、市民の星や宇宙への関心を高めることができた。 学習投映を通して、児童・生徒の星や宇宙についての理解を深めるとともに関心を高めることができた。							
課題 (できなかったこと)		開館後30年が経過し、プラネタリウム機器の老朽化が進み、投映にも支障が出始めているため、機器の更新を図る必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標	プラネタリウム入場者数（人）		27,870	28,140	30,973	28,500	29,000		
成果指標									
他市との比較検証	愛知県内11施設中、2番目に古いプラネタリウム機器である。								
C 事業コスト V	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		10,475	10,698	10,171	10,378	合計	10,171,350 円	
	財源	特定財源	511	531	594	360	需用費	378,000 円	
		一般財源	9,964	10,167	9,577	10,018	委託料	3,692,850 円	
	職員人件費 ②		0	12,322	9,332	8,991	使用料及び賃借料	6,100,500 円	
	総事業費 (①+②)		10,475	23,020	19,503	19,369			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		プラネタリウム使用料					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			地域児童館運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					課等長名	近藤 博志	
3	2	4					作成者	江坂 隆	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	地域児童館を適切に管理・運営することにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	東刈谷児童館に児童厚生員を配置することにより、地域児童館として適切な管理・運営を実施する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者				事業期間	平成23年度 ~ 平成23年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
						子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。			
成果 (できたこと)		児童厚生員が東刈谷児童館の管理運営を行うことにより、来館者数が増加し、子どもたちに健全な遊びを通してその健康を増進し、情操を豊かにすることができた。							
課題 (できなかったこと)		新たな児童厚生員体制により、児童館の内容をさらに充実し魅力あるものにすることが必要がある。							
指標名称 (単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		東刈谷児童館利用者数 (児童クラブを除く) (人)			17,593	16,516	28,529	28,800	29,000
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	3,689	0	合計	3,689,148 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	3,689,148 円	
		一般財源	0	0	3,689	0			
	職員人件費 ②		0	0	5,025	0			
	総事業費 (①+②)		0	0	8,714	0			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			はばたき子どもまつり事業				担当部	次世代育成部			
一般会計							担当課	中央児童館			
款	項	目					課等長名	近藤 博志			
3	2	4					作成者	田村 研一			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	子どもの居場所づくり								
	目的	子ども同士や親子間での交流の機会を作りふれあいを深めるため、はばたき子どもまつりを開催し、健全な遊びを通して、児童の健康を増進し、また情操を豊かにする。			主たる内容	○中央児童館の全館を使って、人形劇・ふれあい動物広場・プラバンキーホルダー・ペンシルバルーン・似顔絵・プラネタリウム無料投映等を行う。 ○はばたきクリスマス会を開催し、演劇・ゲームを行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画					事業期間	平成2年度 ~		
			根拠法令	児童福祉法							
			対象者	児童・保護者			実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他			
				21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
				はばたき子どもまつり及びはばたきクリスマス会を実施し、児童の健全育成の場を提供することができた。		はばたき子どもまつり及びはばたきクリスマス会を実施し、児童の健全育成の場を提供することができた。		はばたき子どもまつり及びはばたきクリスマス会を実施し、児童の健全育成の場を提供することができた。		はばたき子どもまつり及びはばたきクリスマス会を実施し、児童の健全育成の場を提供する。	
			成果 (できたこと)	中央児童館内を万遍なく利用し、行事を行えるよう催し物の配置・時間の検討、また催し物の追加を行った。							
		課題 (できなかったこと)	交通児童遊園に来園した市民が中央児童館に来館することが多いため、雨天の場合、来館者が少なくなってしまう。館内でもっとも広い大集会室での催し物の参加者が少ない。								
O 実施 V	指標名称(単位)		実績値			目標値					
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度				
	活動 指標	来館者数(人)	3,711	3,110	3,508	3,600	3,800				
	成果 指標										
	他市との 比較検証	海賊船アドベンチャーや移動動物園など、他市ではあまり見られない規模の催しを行っている。									
C 事業 コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳				
	事業費 ①		765	758	753	800	合計		753,245 円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0	報償費		117,000 円		
		一般財源	765	758	753	800	需用費		60,845 円		
	職員人件費 ②		0	2,537	2,871	4,121	委託料		575,400 円		
	総事業費(①+②)		765	3,295	3,624	4,921					
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費		0									
25年度以降の事業費見込		0									

会計名			「はやぶさ」帰還カプセル特別公開事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	中央児童館		
款	項	目					課等長名	近藤 博志		
3	2	4					作成者	江坂 隆		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	平成23年5月で開館30周年を迎えた中央児童館の記念事業として開催し、子どもたちや市民に小惑星探査機「はやぶさ」の成し遂げた偉業のすばらしさを実感してもらい、併せて宇宙や未来に向けて夢と希望を育み、科学する心を培う。	主たる内容	○総合文化センターで小惑星探査機「はやぶさ」のカプセルを展示する。 ○宇宙や「はやぶさ」に関係するパネルや模型等を展示する。 ○ものづくり・体験コーナー及び映像鑑賞コーナーを開設する。 ○川口淳一郎先生の講演会を開催する。						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者			事業期間	平成23年度 ~ 平成24年度					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
						開催期間 平成24年3月30日(金)~3月31日(土) カプセル観覧者数 5,330人 ・展示、ものづくり・体験、映像鑑賞、物販など4つの部門で20のコーナーを開設した。		開催期間 平成24年4月1日(日)~4月3日(火) カプセル観覧者数 10,302人 ・展示、ものづくり・体験、映像鑑賞、物販など4つの部門で20のコーナーを開設する。 ・4月1日(日)に川口氏講演会を開催する。		
成果(できたこと)		カプセル見学者数15,632人、川口氏講演会入場者数1,348人。ものづくり・体験部門14,118人、映像鑑賞部門9,466人、応援メッセージ記入者459人、記念撮影コーナー5,200人、中央児童館「はやぶさ」帰還バージョン入場者1,599人で、各部門ともたいへん盛況であった。本物のカプセルや展示物を見ていただくことにより「はやぶさ」の偉業について多くの市民に感動を与えることができた。								
課題(できなかったこと)		・カプセル解説コーナーとカプセル展示コーナーを広くとるように配慮したため、結果としてパネル展示コーナーが狭くなり、観覧者であふれる場面があった。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
成果指標		カプセル観覧者数(人)		—	—	5,330	10,302	—		
成果指標		講演会入場者数(人)		—	—	—	1,348	—		
他市との比較検証		カプセル見学者数で比較すると、他市では1日当たり2,000人前後の入場者数のところが多いが、刈谷市は1日当たり3,100人以上の入場者があり多いほうであった。								
C 事業コスト		単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	3,707	5,700	合計	3,707,256 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,707,256 円		
		一般財源	0	0	3,707	5,700				
	職員人件費②		0	0	8,614	3,746				
	総事業費(①+②)		0	0	12,321	9,446				
	建設事業	全体事業費			0	23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費			0							
25年度以降の事業費見込			0							

会計名			備品等整備事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	中央児童館		
款	項	目					課等長名	近藤 博志		
3	2	4					作成者	江坂 隆		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	児童館の備品等を整備し、施設機能の一層の充実を図る。			主たる内容	各児童館において必要な室内遊具等の備品の更新整備を図る。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画							
			根拠法令	児童福祉法						
		対象者	市民		事業期間	昭和56年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		ロビーチェア 屋外ベンチ 書架（オープン）		防犯カメラ等の更新 トイレのベビーチェア ツ木児童館の卓球台		AEDパッド、バッテリー		該当事業なし		
成果 (できたこと)		施設維持管理のために必要な備品を更新・整備することができた。								
課題 (できなかったこと)		備品の整備に当たっては、市民へのサービスを低下させない範囲で必要最小限の更新に努める必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動 指標		中央児童館利用者数（人）			90,637	85,992	87,925	88,000	89,000	
成果 指標										
他市との 比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		520	1,064	99	0	合計		98,700 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	需用費		98,700 円	
		一般財源	520	1,064	99	0				
	職員人件費 ②		0	2,537	359	0				
	総事業費 ((①+②))		520	3,601	458	0				
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設整備事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					課等長名	近藤 博志	
3	2	4					作成者	江坂 隆	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	中央児童館の施設を整備し、利用者の安全性・利便性の向上を図る。			主たる内容	中央児童館の施設を必要に応じて整備し、利用者の安全性・利便性の向上を図る。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
			根拠法令	児童福祉法					
		対象者	市民		事業期間	平成22年度 ~ 平成23年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		該当事業なし		デジタル放送対応のためブースター等設置工事		(H22繰越分) 望遠鏡改修工事(コンピュータ制御による自動導入)		該当事業なし	
成果 (できたこと)		天体望遠鏡にコンピュータ制御による自動導入システムを導入することにより、恒星や惑星等を短時間で的確に捉えることが可能になり、天体観望会等で待ち時間を減らし内容の充実を図ることができた。また、これまでは難しかった屋間の観望会も開催することができるようになった。							
課題 (できなかったこと)		開館して31年経過し館内の各所が老朽化してきているため、施設の全体的な改修を検討する必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		中央児童館利用者数(人)			90,637	85,992	87,925	88,000	89,000
成果指標		天体観望会開催回数(回)			4	4	10	8	8
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		0	200	5,586	0	合計	5,586,000円	
	財源	特定財源	0	0	5,000	0	工事請負費	5,586,000円	
		一般財源	0	200	586	0			
	職員人件費②		0	1,450	1,077	0			
	総事業費(①+②)		0	1,650	6,663	0			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0		住民生活に光をそそぐ交付金			
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	中央児童館		
款	項	目					課等長名	近藤 博志		
3	2	5					作成者	江坂 隆		
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	交通児童遊園を安全かつ効率的に管理運営することにより、屋外型児童厚生施設として子どもたちに健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	交通児童遊園の指定管理者として都市施設管理協会を指定し、施設の適正な管理運営を実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画							
			根拠法令	児童福祉法						
		対象者	児童・保護者			事業期間	昭和50年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O A 実 施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営する。		
成果 (できたこと)		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営できた。								
課題 (できなかったこと)		マスコミによる情報提供や1000円高速等の影響により、施設の入場能力以上に人が集中し混雑することがあった。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動 指標		乗物利用状況(人)			1,182,945	1,275,778	1,296,525	1,290,000	1,290,000	
成果 指標										
他市との 比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		73,216	77,336	77,879	92,068	合計	77,878,821 円		
	財 源	特定財源	57,642	61,241	62,166	53,630	役務費	29,832 円		
		一般財源	15,574	16,095	15,713	38,438	委託料	77,848,989 円		
	職員人件費 ②		0	1,087	1,436	1,498				
	総事業費(①+②)		73,216	78,423	79,315	93,566				
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		交通児童遊園遊具使用料 行政財産目的外使用料						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設整備事業				担当部	次世代育成部			
一般会計							担当課	中央児童館			
款	項	目					課等長名	近藤 博志			
3	2	5	作成者	江坂 隆							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	子どもの居場所づくり								
	目的	交通児童遊園は近隣市の中でも人気が高い施設であり利用者数も多いため、施設の消耗や劣化も早い。多くの利用者が常に快適かつ安全に楽しむことができるように施設を整備する。				主たる内容	交通児童遊園利用者の安全性・利便性の向上を図るため、必要に応じて老朽化した施設を整備・更新する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画								
			根拠法令	児童福祉法							
		対象者	児童・保護者			事業期間	昭和50年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績			23年度実績		24年度計画		
		刈谷駅南北連絡道路及び南伸道路の建設により交通児童遊園が分断されることに対応するため、交通児童遊園基本計画に基づき交通児童遊園の総合的な整備を行った。		歩道橋排水工事、トイレ漏水修繕工事、ゴーカートコース補修工事、エアコン取替工事、壁面看板設置工事、管理人室改修工事を実施した。			交通児童遊園フェンスの取替工事、人工芝すべり台の人工芝張替工事、ドルフィンパラダイス塗装工事を実施した。		薬師川沿いのフェンス取替工事、人工芝すべり台(東エリア)の人工芝張替工事、案内看板の整備を実施する。		
成果 (できたこと)		交通児童遊園の施設を必要に応じて整備・改修を進め、利用者の安全性・利便性の向上を図ることにより、利用者を増やすことができた。									
課題 (できなかったこと)		利用者の安全性・利便性を継続的に確保していくため、計画的に施設の整備を進めていく必要がある。									
指標名称(単位)					実績値			目標値			
					21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動 指標		乗物利用者数(人)				1,182,945	1,275,778	1,296,525	1,290,000	1,290,000	
成果 指標											
他市との 比較検証											
C 事業 コスト		単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費①		247,548	2,989	4,512	3,140	合計		4,511,850円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費		4,511,850円		
		一般財源	247,548	2,989	4,512	3,140					
	職員人件費②		0	1,087	359	0					
	総事業費(①+②)		247,548	4,076	4,871	3,140					
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費		0									
25年度以降の事業費見込		0									